

整形外科

臨床研修期間(2年間)	
病院名 (59病院)	医療圏
横浜労災病院	横浜
昭和大学藤が丘病院	
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	
横浜旭中央総合病院	
菊名記念病院	
汐田総合病院	
昭和大学横浜市北部病院	
済生会横浜市東部病院	
済生会横浜市南部病院	
横浜南共済病院	
横浜栄共済病院	
横浜市立大学附属病院	
横浜市立みなと赤十字病院	
横浜市立大学附属市民総合医療センター	
横浜中央病院	
けいゆう病院	
横浜医療センター	
横浜市立市民病院	
国際親善総合病院	
戸塚共立第1病院	
東戸塚記念病院	
聖隷横浜病院	
帝京大学医学部附属溝口病院	
聖マリアンナ医科大学病院	
川崎市立多摩病院	川崎南部
新百合ヶ丘総合病院	
関東労災病院	
川崎市立川崎病院	
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院	
川崎協同病院	相模原
川崎市立井田病院	
日本医科大学武蔵小杉病院	
川崎幸病院	
相模原病院	
北里大学病院	横須賀・三浦
相模原協同病院	
横須賀市立うわまち病院	
横須賀共済病院	
横須賀市立市民病院	
湘南鎌倉総合病院	湘南東部
大船中央病院	
藤沢市民病院	
湘南藤沢徳洲会病院	
藤沢湘南台病院	
湘南東部総合病院	湘南西部
茅ヶ崎市立病院	
平塚市民病院	
平塚共済病院	
東海大学医学部付属病院	
伊勢原協同病院	県央
秦野赤十字病院	
大和市立病院	
海老名総合病院	
厚木市立病院	
東名厚木病院	県西
湘南厚木病院	
小田原市立病院	
山近記念総合病院	
神奈川県立足柄上病院	

専門医研修期間(標準3年間)						
基幹施設名(9病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群	
北里大学病院	相模原	B	澗野辺総合病院	相模原	B	
			黒河内病院	相模原	B	
			丘整形外科病院	相模原	B	
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B	
			茅ヶ崎中央病院	湘南東部	B	
			湘南東部総合病院	湘南東部	B	
			済生会湘南平塚病院	湘南西部	B	
			愛川北部病院	県央	B	
			相模台病院	県央	B	
			座間総合病院	県央	B	
			さがみ野中央病院	県央	B	
			汐田総合病院	横浜	C	
			聖隷横浜病院	横浜	C	
			横浜総合病院	横浜	C	
			川崎協同病院	川崎南部	C	
東海大学医学部付属病院	湘南西部	B	湘南中央病院	湘南東部	B	
			湘南大磯病院	湘南西部	B	
			伊勢原協同病院	湘南西部	B	
			海老名総合病院	県央	B	
			東海大学医学部付属病院	湘南西部	B	
海老名総合病院	県央	B	東海大学医学部付属病院	湘南西部	B	
			湯河原病院	県西	A	
			さがみ林間病院	相模原	B	
			相模原病院	相模原	B	
			虎の門病院分院	川崎北部	C	
横浜労災病院	横浜	C	新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C	
			関東労災病院	川崎南部	C	
			相模原赤十字病院	相模原	B	
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B	
			菊名記念病院	横浜	C	
横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C	横浜栄共済病院	横浜	C	
			新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C	
			相模原協同病院	相模原	B	
			横須賀共済病院	横須賀・三浦	B	
			横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B	
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C	平塚共済病院	湘南西部	B	
			横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C	
			横浜市立大学附属病院	横浜	C	
			横浜医療センター	横浜	C	
			新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C	
横浜市立大学附属病院	横浜	C	相模原協同病院	相模原	B	
			相模原協同病院	相模原	B	
			横須賀共済病院	横須賀・三浦	B	
			横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B	
			平塚共済病院	湘南西部	B	
			横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C	
			横浜市立大学附属病院	横浜	C	
			横浜医療センター	横浜	C	
			神奈川県立足柄上病院	県西	A	
			小田原市立病院	県西	A	
			相模原協同病院	相模原	B	
			横須賀共済病院	横須賀・三浦	B	
			横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B	
			横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B	
			三浦市立病院	横須賀・三浦	B	
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B	
			藤沢市民病院	湘南東部	B	
			茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B	
			平塚共済病院	湘南西部	B	
			神奈川リハビリテーション病院	県央	B	
			大和市立病院	県央	B	
			横浜石心会病院	横浜	C	
			東神奈川リハビリテーション病院	横浜	C	
			横浜掖済会病院	横浜	C	
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C	
神奈川県立こども医療センター	横浜	C				
横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C				
磯子中央病院	横浜	C				
横浜南共済病院	横浜	C				
平成横浜病院	横浜	C				
済生会横浜市南部病院	横浜	C				
神奈川県立がんセンター	横浜	C				
湘南泉病院	横浜	C				
横浜市立市民病院	横浜	C				
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	横浜	C				
横浜医療センター	横浜	C				
新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C				
関東労災病院	川崎南部	C				
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C	衣笠病院	横須賀・三浦	B	
			聖ヨゼフ病院	横須賀・三浦	B	
			総合病院湘南病院	横須賀・三浦	B	
			神奈川県立こども医療センター	横浜	C	
			戸塚共立第2病院	横浜	C	
			聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	C	
			神奈川県立がんセンター	横浜	C	
川崎市立多摩病院	川崎北部	C				
川崎市立川崎病院	川崎南部	C	済生会横浜市東部病院	横浜	C	
			けいゆう病院	横浜	C	
			国際親善総合病院	横浜	C	
			川崎市立井田病院	川崎南部	C	

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県西	A	小田原市立病院	417	<p>当院は、県西地域の基幹病院として、28の診療科を備え、急性期、高度医療や救急医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。</p> <p>また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。</p> <p>全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。</p>	<p>当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病棟連携や病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。</p> <p>当院で地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえることを期待しています。</p> <p>また、当院は、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れているとともに、診療科間の連携も密に行われていることから診療しやすい勤務環境が整っており、ダビンチや遠隔医療システムなど、先進的な医療機器の導入も積極的に行っています。</p>
県西	A	神奈川県立足柄上病院	296	<p>県西医療圏は県内でもより早期に高齢化・人口減少が起きているが、医療需要は幅広くあり、特に救急医療の維持には人員が必要であるため。</p>	<p>generalな力を持った総合診療の良い指導医がおり、横浜市大との連携で勤務年限終了後に関してもキャリア継続が可能。新型コロナウイルス対策では、県の重点医療機関として流行の初期より患者を受け入れるなど、県の医療体制維持に貢献している。</p>
横須賀・三浦	B	横須賀市立市民病院	482	<p>各診療科の医師数は十分とは言えず、診療科によっては入院制限や緊急時の手術制限をする場合もある。二次保健医療圏の医師数の状況を踏まえても、更なる医師の確保が必要である。</p>	<p>派遣された医師が、臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した診療ができ、地域医療に貢献できるよう配慮していきます。</p>
横須賀・三浦	B	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	740	<p>教育体制が整っている。 未来に向けてたがたいレベルの医師を育てたいと思っています。</p>	<p>整形外科:年間手術件数1300件をこなしており、多くの外傷治療を経験できる。関節や脊椎の変性疾患についても多くの経験を積むことができる。</p>
横須賀・三浦	B	シャカイフクシホウジン聖テレジア会 鎌倉療育医療センター小さき花の園	72	<p>現在常勤医が3名枠のところ2名で診療を行っている。 各大学に医師の派遣をお願いしているが、医局員が少ないという理由で断られている。医師不足を解消したい。</p>	<p>児童から成人まで、重症心身障害児の診療を学ぶことができる。</p>
湘南東部	B	医療法人社団若林会 湘南中央病院	199	<p>地域医療を希望する医師の確保</p>	<p>当院は回復期リハビリテーション病棟、急性期病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟、緩和ケア病棟を有し、院内には在宅診療科、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を併設しており地域医療を実践しています。後方支援として同法人設立の介護老人保健施設もあります。また、県、市からの要請により地域の医療確保に向け万全の体制で臨む医療機関です。</p>
湘南東部	B	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	<p>神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。</p>	<p>当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看取りなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また社堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。</p>
湘南東部	B	茅ヶ崎市立病院	401	<p>—</p>	<p>—</p>
湘南西部	B	東海大学医学部付属病院	804	<p>本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。</p>	<p>特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的診療を行っています。</p>
湘南西部	B	秦野赤十字病院	320	<p>定員医師数が不足し受入れを希望します。</p>	<p>日本赤十字社の使命の一つである災害医療は、今後も予期せぬ災害において被災地での迅速な活動と当病院の地域で災害が生じた際には当院が災害拠点病院として医療活動が行えるよう準備を行っております。通常の診療では2023年血管造影室が1部屋増設され、脳神経外科や循環器内科などでの血管治療がより遅滞なく可能となりました。当院泌尿器科および外科で2024年に手術を支援するロボットを用いた手術を行い、今後も安全で高度な医療を行う所存です。その他消化器内科、脳神経内科、腎臓内科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線科は常勤の専門医が診療いたします。代謝内分分泌科、産婦人科、心臓血管外科医、形成外科、呼吸器内科は外来のみの診療ですが、当院は2023年地域医療支援病院に認定され、今後も引き続き秦野近隣の様々な医療機関と連携して地域医療を支える病院として診療を行います。各診療科の概要・特徴につきましては、当院ホームページをご覧くださいませようお願いいたします。</p>
湘南西部	B	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会湘南平塚病院	176	<p>地域包括ケアを充実させるべき当院の役割を拡大させるため</p>	<p>当院で地域医療に根ざした地域包括ケア医療を研修することが出来る</p>
湘南西部	B	医療法人社団 健齡会 ふれあい平塚ホスピタル	125	<p>地域を担う医師の育成に少しでもお役に立てればと思い、受入を希望致しました。</p>	<p>地域にお住まいの皆様「掛かりつけ医」として、又、人工透析、療養、リハビリテーション機能を提供し、包括的な地域医療を目指しております。</p> <p>エリア内には同じグループが経営する有料老人ホームや介護老人福祉施設を併設し、医療、福祉の総合施設としての役割も担いつつ、利用者様への安心医療を提供しております。</p>
県央	B	神奈川リハビリテーション病院	324	<p>県内で医師の配置が最も逼迫している県央地区において、当該医師が当院の診療に加わることにより、当院の臨床力の向上のみならず県央地域医療全体に貢献できるものと考えます。</p>	<p>令和元年8月に新病院がグランドオープンしました。40有余年の歴史と伝統のあるリハビリテーション医療を、ロボット手術支援システム(Mako)をはじめとした最新鋭の設備施設にて体得することができます。</p>

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県央	B	綾瀬厚生病院	168	1.地域の高齢化が進み内科や整形外科の医療ニーズが増加しており、地域の医療ニーズに十分応えられていない。 2.常勤医師の高齢化に伴う後継医師の確保が必要。 3.常勤医師の負担軽減を図るため。	綾瀬市唯一の急性期病院(二次救急対応)として同市の基幹病院機能を担い、近隣の特定機能病院や開業医の先生方と連携をとり、地域の皆様に安心して頂ける医療を提供している。 また、市内で唯一の入院施設でもあり整形疾患や消化器疾患への手術対応、産婦人科での分娩・手術対応に加え、近年増加傾向にある腎臓病に対応した人工透析センターでは入院と通院の両面において快適な療養生活を提供している。 更に、退院された患者様支援として、訪問看護、訪問リハビリテーションを提供し、より皆さまの健康維持、向上の為に取組みに努めている。
県央	B	さがみ野中央病院	96	医師不足もあり、若い世代の医師を確保したい。	整形外科は年間180件以上の手術実績があり、院長が整形外科医のこともあり教育体制が出来ている。
横浜	C	昭和大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まる事が予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。	当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を数多く経験することができます。大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。
横浜	C	済生会横浜市東部病院	562	—	—
横浜	C	菊名記念病院	218	医師不足のため受入を要望する。	初期臨床研修病院のため、各診療科において、教育・指導体制が充実している。 地域医療支援病院として、近隣医療機関との連携を通し地域医療に貢献できる。
横浜	C	横浜市立大学附属市民総合医療センター	726	—	—
横浜	C	横浜市立市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。 2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りましょう。
横浜	C	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院	367	・地域枠医師を受け入れるための条件に合致する医療機関であるため ・当院は地域に根差した診療を行っており、地域医療を担う医師の育成という本取り組みの趣旨に合致するため	●整形外科 → 骨・関節、背骨の病気や外傷の診療など幅広く対応しています。病棟も急性期から回復期まで患者の病態に合わせた病棟を整備しています
横浜	C	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜保土ヶ谷中央病院	236	当院は令和2年4月に地域医療支援病院として承認され、年間3,000件以上の救急の受け入れを行っています。また、JCHO版病院総合育成プログラム等、総合診療科が積極的に診療を行っており、その他消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、外科において若手医師の活躍が期待されます。	当院は、横浜市二次救急医療に携わる病床数236床の急性期病院です。昭和30年の開設で、平成26年に独立行政法人地域医療機能推進機構横浜保土ヶ谷中央病院となりました。保土ヶ谷区の中心的病院として医療を提供しており、急性期としてHCU8床・手術室5室・透析23床を備え、内科・外科・整形外科に加え泌尿器科眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科など、多数の診療科で質の高い医療を行っています。また、地域包括ケア病棟(31床)、訪問看護ステーションを併設しています。
横浜	C	ふれあい東戸塚ホスピタル	150	当院では高齢の常勤医師が多数を占めており、域枠医師として若い医師を育成し継続的かつ発展的に地域医療に貢献できる様にしたいと考え、受け入れを希望します。	総合診療を中心として人工透析、リハビリテーションの専門医療、在宅医療等の機能を提供し地域包括ケアを推進しております。入院患者の半数を占める透析患者が抱える糖尿病への対応、回復期リハ病棟(回復期病棟2取得)では脳血管疾患や整形疾患、透析治療が必要な患者を対象としたリハビリを提供しております。こうした環境下でスキルを如何なく発揮、地域医療の発展に寄与頂ける医師の応募をお待ちしております。
横浜	C	社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	287	外科、内科、泌尿器科、整形外科、眼科には既に大学人事での専攻医が所属し、他の診療科にも指導体制が整備されているが、いずれの診療科も医師不足である。	横浜市2次救急拠点病院Aとして年間5,000件以上の救急搬送を受け入れ、地域の中核病院として多くのcommon diseaseに対応している。産科では無痛分娩を積極的に行ない、分娩数の約半数を占めている。緩和ケア病棟を備え、診断から緩和までシームレスながん医療を展開している。泌尿器科、外科、婦人科ではロボット支援手術を積極的に行なっている。
横浜	C	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	674	—	女性医師支援をはじめ、働きやすい環境づくりのための各診療科会議の運用や各種制度の周知などを行っています。
横浜	C	医療法人裕徳会 港南台病院	84	84床の急性期に加え、令和3年5月に120床の地域包括ケア病院を開院しました。地域の中で入院診療、訪問診療、介護などの従来からの個別課題解決だけでなく、ネットワーク構築、地域課題発見、地域づくりや新たな資源開発、さらには政策提案などの様々な実務を実践していくうえで柔軟な思考、活動ができ、新たなことにチャレンジできる若い力を必要としています。	法人内に急性期病院、地域包括ケア病院、介護老健、有料老人ホーム、グループホーム、訪問看護ステーションがあり、都市型の地域医療を実現していくうえで、当法人ならではのユニークな経験を積むことができます。経験と指導能力に富む内科医師、外科医師に加え特に済生会横浜市南部病院と連携しながら診療を行っており、日本外科学会関連施設でもあることから、外科専門医制度と関連付けた研修を積むことも可能です。キャリアの早い段階にこのような包括的な経験を積むことは、これからの新たな地域医療を実践する若手医師の成長に大きく寄与できるものと考えます。
横浜	C	横浜市立脳卒中・神経脊髄センター	300	地域医療の質向上及び当院の合併症対応機能の強化のため	当院の専門領域(脳血管疾患、神経疾患、脊椎脊髄疾患)について豊富な症例が経験できます。指導体制や施設・設備面も充実した環境となっています。

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
横浜	C	景翠会 金沢病院	162	金沢区に根差した地域密着型病院ではありますが、毎年、千葉大学、横浜市立大学、東京慈恵会医科大学をはじめ、他医療機関からの医師派遣を受けております。この環境下で私達と切磋琢磨する医師を歓迎いたします。	手外科をはじめとする多分野の専門医がそろっており、手術実績は、小規模病院ではありながら、年間800件を超える。後期臨床研修医でも、年間150～200件の手術を担当。
横浜	C	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市南部病院	500	当院は横浜市大関連施設であるため、専門研修ローテーションを含め、医師の赴任離任は大学人事に依り行われているためです。	当院は指導体制も含め各診療科は横浜市大各教室と連携を密にしております。このことからとくに、指導医が複数の診療科ではサブスペシャリティの指導体制も充実しております。
川崎北部	C	帝京大学医学部附属溝口病院	400	地域への貢献の意志がある意欲的な人材を受け入れることにより、各科の充実を図ることは、当院の理念である「地域に根ざした高度で良質な医療を実践します。」に合致するため。また、全ての領域ではないが専門医の基幹・連携施設となっており、専攻医の育成も可能であるため。	大学病院として高度専門医療はもちろん、地域に密着しているため多くのコモディティーズを経験することができます。各科の垣根は低く、医療スタッフの連携やチームワークもよい病院です。 ●整形外科:様々な四肢関節疾患・外傷を広く取り扱っている。